



# コーポレートガバナンス

## Corporate Governance

“コーポレートガバナンスに関する基本的な考え方は、株主利益の最大化であり、有機的な経営組織と、経営理念を最上位の概念とする経営体系を設けています”

THKのコーポレートガバナンスに関する基本的な考え方は、株主利益の最大化です。その観点から、以下のような有機的な経営組織と、経営理念を最上位の概念とする経営体系を設けております。

### 基本的な経営構造

取締役会は16名の取締役で構成されています。現時点では社外取締役は設置していませんが、経営に対する責任を明確にするために取締役の任期を1年としています。また、経営監督機能と業務執行機能を分離させるため、役付取締役は業務執行を兼務しないこととしています。そのうえで、取締役会の機能をさらに有効に発揮せしめるために、役付取締役から構成される経営会議を設置しています。経営会議は、戦略的観点から経営に関する基本的方向を決定しており、併せて取締役会での議論に必要な情報を担当セクションから収集し、必要に応じて弁護士や公認会計士等の第三者の立場から意見を聴取したうえで

議論し、情報と論点を整理しています。取締役会ではこれをもとにさらに議論を重ね、会社としての最終的な経営意思決定を行っています。

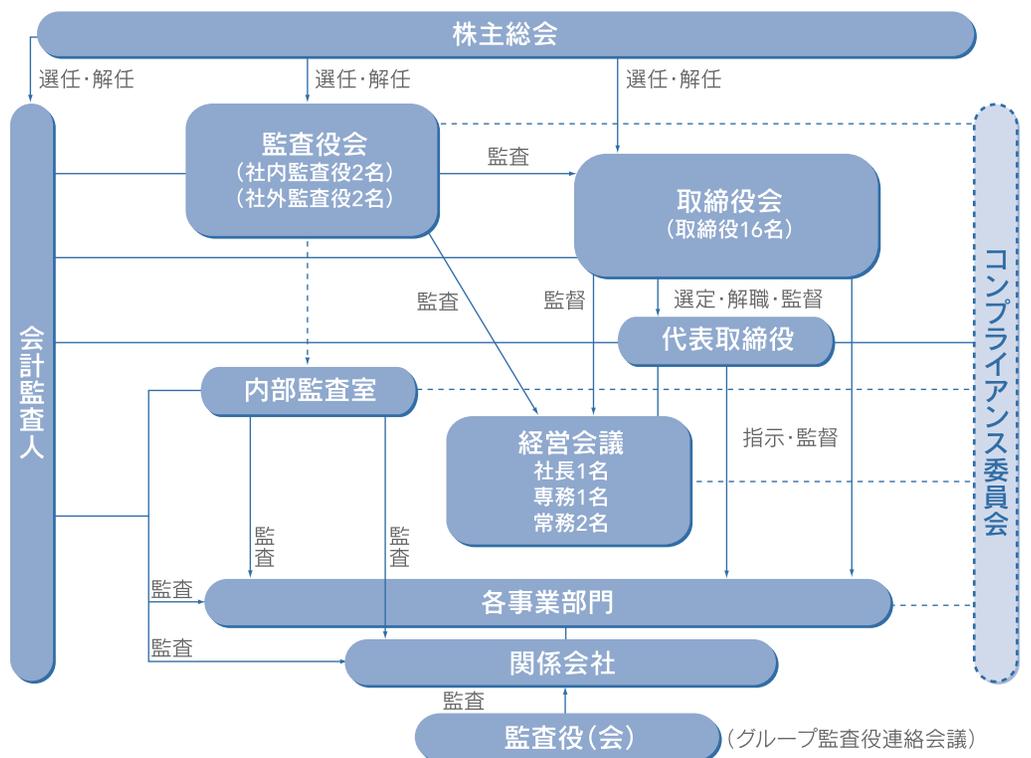
監査役会は監査役4名（うち社外監査役2名）で構成されています。監査役は会計監査人と連携し、随時会計監査人から監査の経過、内容につき報告を受けており、監査の実施状況、結果につき把握するようにしています。また、内部監査室を設置し、内部監査規定に基づいて、業務執行の忠実性、確実性、合理性、さらには経営効率性を評価すべく、内部監査を恒常的に実施しています。監査役は監査業務に必要な事項を内部監査室所属の職員に指示するとともに、内部監査室と連携して監査手続きを遂行しています。

また、当社を含めた国内の全グループ会社の監査役は、定例の連絡会を開催し、監査慣行についての情報を交換しています。



コーポレートガバナンスの概要

組織形態	監査役設置会社
取締役会議長	社長
取締役の人数	16名
社外取締役選任状況	選任していない
監査役の人数	4名
社外監査役選任状況	選任している
社外監査役の人数	2名
取締役へのインセンティブ付与	実施していない
取締役報酬関連開示	有価証券報告書
内部監査	コンプライアンス委員会 内部監査室の設置



コーポレートガバナンスの組織図

THKは、法律、規則および規制を完全に遵守し、実態に則した「社内規範」や社会情勢を考慮した「倫理規範」を作成するために、コンプライアンス委員会を設立しています。株主や投資家の皆様の信頼にお応えするために、コンプライアンス委員会を柱として社内体制の強化を図るとともに、アカウントビリティを果たします。

## 戦略的計画および透明性

THKのコーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方は、株主利益の最大化です。経営の透明性を高めるために、経営理念を最上位の概念とし、長期経営目標、中期経営計画、年度計画からなる経営体系と進捗状況をステークホルダーに対し定期的に発表しています。THKの経営理念および現在の長期経営目標、中期経営計画は以下の通りです。

## 長期経営目標

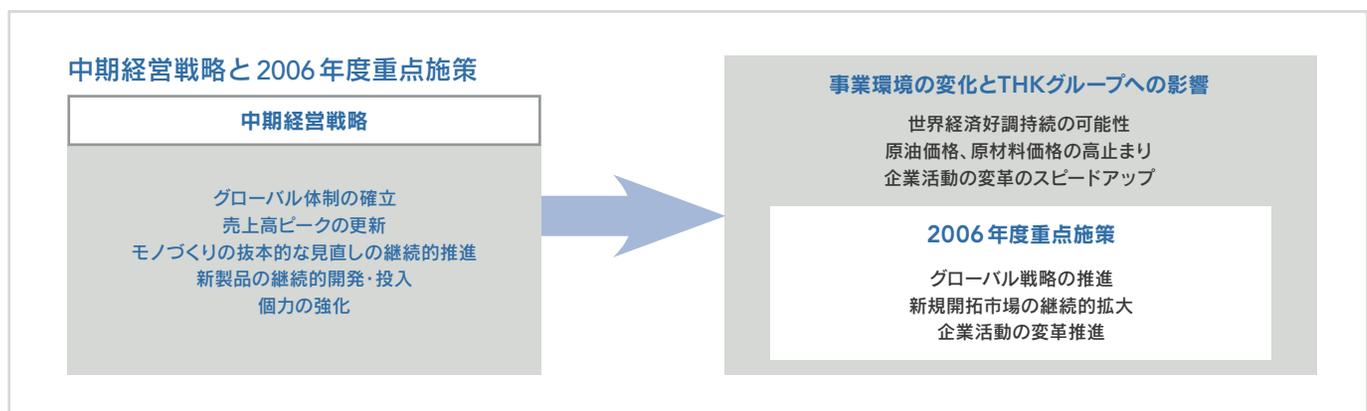
当社の持つ競争力をフルに発揮し、世界のトップメーカーとしての地位をより強固なものにするために、当社は2001年の創業30周年に際して長期経営目標、「2010年度ビジョン」を策定しました。長期経営目標は「世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する」という当社の経営理念を実践すべく、2010年度までの10年間の当社の進むべき方向、あるべき姿を明確に提示するためのものです。長期経営目標では、「グローバル展開」と「新規分野への展開」によるビジネス領域の拡大を目指しています。

## 中期経営計画

長期経営目標の達成に向けて、より具体的な中期経営計画が策定されています。長期経営目標が2010年度をターゲットにしたフィックスドプランであるのに対し、中期経営計画は3年単位で作成し、前年における進展と事業環境の変化を考慮して毎年修正されるローリングプランとなっています。中期経営計画は、長期経営目標と各部門の毎年度の事業戦略をつなぐスケジュール・プログラムと位置づけられています。当社の経営計画の最大の特徴は、トップダウンで決定された長期経営目標と、ボトムアップで作成された部門別の事業戦略との組み合わせによって構成されていることです。これによって、常に計画の整合性と実現可能性が維持されています。中期経営計画の役割は、長期経営目標と、各部門の事業戦略との間に一貫性を持たせる、言い換えれば、各部門の事業戦略を経営の観点からチェックすることにあります。THKは、2006年5月に、2006年度から2008年度までを対象とする中期経営計画を発表いたしました。計画の骨子は下図のとおりです。

## 留保利益に関する基本的な姿勢

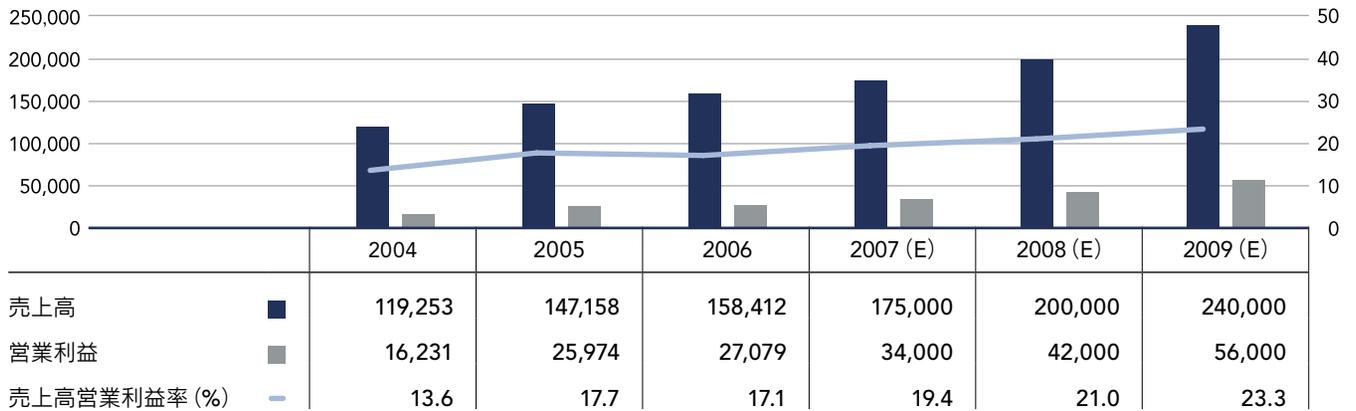
当社の留保利益に対する基本姿勢は、株主に対する利益還元と、長期経営目標の達成に向けた事業活動への再投資です。今後とも長期的な資金需要を勘案の上、安定した配当を継続的に行うことを基本としつつ、株主資本の充実とともに積極的な利益配分をおこなってまいります。



3月31日に終了した1年間

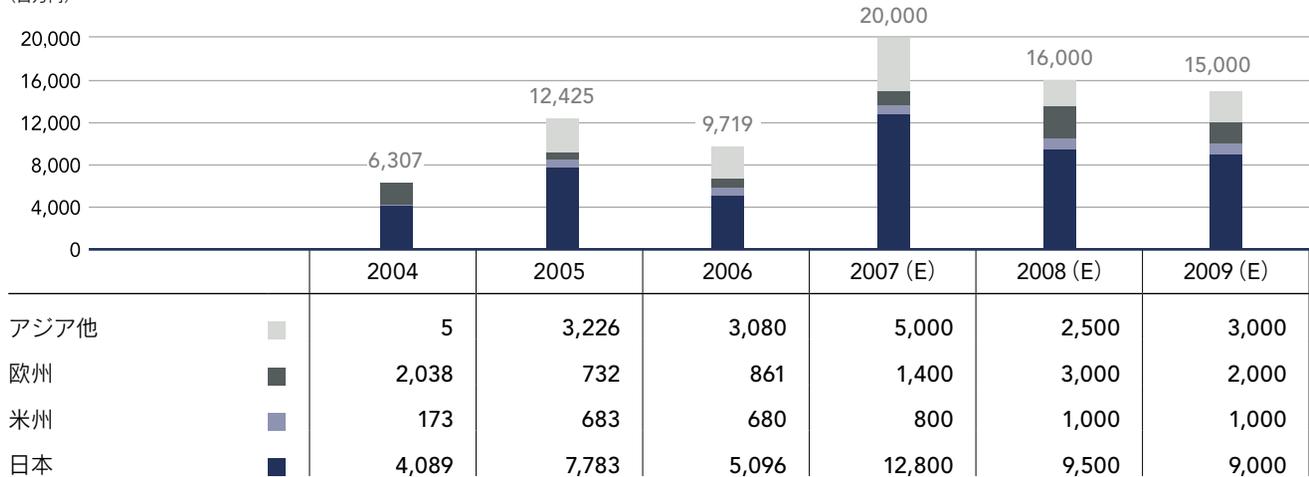
## 利益計画

(百万円)



## 設備投資額

(百万円)



## 従業員数

(人)

